

2025
年度

かざん文化財団賞

かざん文化財団

公益財団法人かざん文化財団は、地域文化の発展向上および地域の活性化に寄与することを目的に平成9年3月に設立されました。毎年事業の一つとして、鹿児島県の芸術・文化スポーツ等の発展向上に顕著な貢献が認められる個人および団体を表彰する「かざん文化財団賞」を設けております。2025年度は次の5名の方に本賞をお贈り致しました。また本年度助成先および過去の受賞者・助成先については、鹿児島銀行ホームページをご参照ください。（お問合わせ 公益財団法人かざん文化財団事務局 TEL099-239-9766）

絵本作家・画家

コダマリ さん

- ・鹿児島市ご出身。
- ・幼少期より絵を描くことが好きで、絵画の世界に興味を持っておられた。ご自身の経験を通し、生命への慈しみを表現する物語の制作に組み続け、絵や数々の作品作りに挑戦し続けている。
- ・2014年には二科展入選。2022年には吉井淳二記念大賞展新人賞を受賞。そして、2024年東市来町美山の自然に着想を得て「BREAK DAY ミマとモリーのいちにち」を制作、全国公募の第27回文芸社えほん大賞展にて優秀賞を受賞された。この作品は、主人公が壊れた陶器を森の生き物たちと協力して再生する物語を描いている。
- ・今後のご活躍が大いに期待される。



表彰先
案内

美術／洋画

よしむら ひでき
吉村 英樹 さん

- ・鹿児島市ご出身。
- ・鹿児島県立松陽高等学校卒業後、鹿児島大学教育学部美術科へ進学。同大学卒業後は、県内各中学校の美術教諭として勤務された。2024年度より母校の松陽高等学校に赴任し、美術科や美術部の生徒に専門的指導を行っておられる。
- ・その間自身も作家として長年出品を続けており、2024年度は全国展である東光展や県展で上位入賞を果たされた。
- ・県美術協会や県美育協会、全国教育美術展の運営委員も務められ、芸術文化活動振興に貢献する活動を担い、今後のご活躍が大いに期待される。



伝統工芸／陶芸

ありやま かつひで
有山 勝英 さん
(指宿)長太郎焼窯元

- ・鹿児島市ご出身。
- ・長太郎焼は明治32年（1899年）初代有山長太郎により開窯（かいよう）以来120年以上の歴史を持つ。
- ・現在長太郎焼は、本窯（鹿児島市上福元町）、清泉寺長太郎焼窯元（同下福元町）、指宿長太郎焼窯元で引き継がれている。
- ・近年は、指宿長太郎焼窯元の有山勝英氏を中心とした次世代の窯元が、伝統的な技術を現代の感覚と融合させた作品作りや、オリジナルの釉薬（ゆうやく）の開発に組み、伝統の継承と現代陶芸への挑戦を続けながら意欲的に活動されている。最近では、第二ブランド「Tenoutuwa」を立ち上げ、制作をされている。
- ・独自の個性や技術を持ち、精神・伝統を継承しながら発展させ、今後のご活躍が大いに期待される。



音楽／打楽器(器楽)

かみべつぷ ひろし
上 別府 宙 さん

- ・薩摩郡さつま町ご出身。
- ・鹿児島県立松陽高等学校卒業。大分県立芸術文化短期大学管弦打楽器コースを首席で卒業。
- ・鹿児島における打楽器奏者の若き第一人者、ソロ活動のほか、交響楽団や吹奏楽団、室内楽アンサンブルなど鹿児島市内を拠点に中央や遠隔地も含めて精力的な音楽活動を展開している。
- ・その豊かな表現力と確かな技巧は、鹿児島の音楽界に欠かせない存在として、各方面から高い評価を得ている。
- ・また地域活動として、教育機関での鑑賞教室や吹奏楽指導、音楽ホールや関連団体主催の文化事業などにも多数出演。
- ・現在、鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科、鹿児島県立松陽高等学校各非常勤講師、各種音楽コンクールの審査員を務め、後進の指導・育成に尽力している。
- ・今後のご活躍が大いに期待される。



文化活動

地域未来ネット・せんだい
代表：梯 美恵子 さん

- ・薩摩川内市を中心にご活動されている。
- ・主に子供連向けの演劇会の企画を手掛けている。
- ・障害の有る無しに関わらず、楽しく笑える優れた作品を観て互いに理解しあえる機会をつくりたいと「共生社会の実現をめざす舞台芸術鑑賞会」を目的として2013年に当団体を立ち上げ活動を開始された。
- ・2024年までの11年間、障害の有る無しに関わらず様々な世代の市民に、プロの生の舞台、芸術鑑賞の機会を1年に4～5回提供し、活動メンバーは、すべてボランティアで実施しておられる。
- ・福祉施設や学童施設、行政からの理解も得られ来場者も増加傾向、地域活性化に寄与しておられる。
- ・今後のご活躍が大いに期待される。

